

あつべつ

なんでも

イチバン

厚別区民ふれあい推進会が選ぶ
ふれあい事業実践者

4月から

「連絡所」は

「まちづくりセンター」に

変わりました

■まちづくり活動のための
環境づくり

「まちづくりセンター」は、今
まで「連絡所」が担ってきた地域
に密着した行政の窓口としての役
割はそのままに、さらにこれから
は、地域でまちづくり活動に取り
組みやすい環境づくりを重点的に
行っていきます。

地域の誰もが気軽に訪れて、語
り合ったり、情報を手に入れたり、
資料を作ったりすることができ、
まちづくりの交流の場になること
を目指します。

■まちづくり会議

地域で活動をしているさまざま
な団体が情報交流などを積極的に
進めて、地域全体で課題解決やよ
り住み良いまちにするための話し
合いをする、「地区まちづくり会
議」をつくるお手伝いをします。
また結成後は、その活動の拠点に
なります。

■みんなでつくろう

「まちづくりセンター」の新し
い活動は、始まったばかりです。
どんな課題があるのか、どんな情
報を求めているのかなど、皆さん
の声をどんどんお寄せください。
たくさんの方が利用することで、
「まちづくりセンター」の機能が
充実し、地域の活発なまちづくり
活動につながるでしょう。



詳細 地域振興課

☎(05)2400内線222

区役所掲示板

厚別区民ふれあい推進会は、町内会

などの各種団体や事業所が参加して、
地域のふれあいと連帯感を高めること
を目的に活動を行っています。その中
の一つとして、会の目的に沿った事業
を行い、著しい実績を挙げている団体
や個人を、ふれあい実践者に選定して
います。平成十五年度は、厚別中央地
区の若駒子ども会、札幌東商業高等学
校マーケティング部、小林太史さんが
選ばれました。

若駒子ども会は、十一月に広島市で
開かれた全国指定都市子ども会育成研
究協議会で、優良子ども会全国表彰を
受けました。昭和四十七年の発足以来、
地域と密接に連携した子ども会活動を
展開してきたことによるものです。

町内会をはじめとする各種団体や児
童会館、小中学校などと協力して、地域
の人たちと子どもたちがふれあう、さ
まざまな事業を行っています。また、リ
ーダー研修などを通して、地域で活動
する人材育成も積極的に進めてきまし
た。現在では、三十一年を超える長い
活動の中で育った子どもたちの多くが、
大人になってからもボランティアなど
の地域活動に関わるようになりました。



世代を越えて交流を深めた、若駒子ど
も会の百人一首大会

札幌東商業高等学校マーケティング
部は、十一月に宇都宮市で開かれた
「全国高校生徒商業研究発表大会」に
出場し、生徒たちが企画、実施した
「日帰りバスツアー」をテーマに発表
し、最高位の文部科学大臣奨励賞を受
賞しました。

小林さんは、スポーツチャンバラ世
界一。八月に横浜市で開かれたスポー
ツチャンバラの世界選手権で、最も参
加者が多い長剣（フリー）の大人の部
で優勝しています。

いずれも、各分野で目覚ましい活躍
をした人たちです。同じ地域で暮らす
人たちの全国や世界での活躍は、まち
全体に元気をもたらしてくれそうです。